

オーディオデータの 録音方法

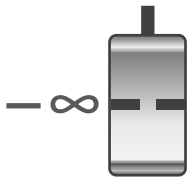
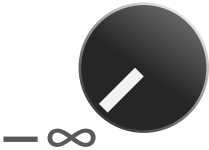


セッティング前のチェックポイント

録音機器のセッティングは非常にデリケートなものです。

誤った使い方をすると
機器を故障させる恐れもありますので
十分注意して行いましょう。

お手持ちの機器の
取扱説明書をよくお読みになった上で
自己責任でチャレンジしてくださいね！

接続前の注意点

| | |
|---|-------------------------|
|  | 接続ボリュームがゼロになっているか？ |
|  | インターフェイスの入力がゼロになっているか？ |
|  | インターフェイスのファンタム電源がオフか？ |
|  | トラックのREC待機状態がオフになっているか？ |

オーディオ録音の手順

オーディオデータを録音するための手順は以下の通りです。

1. 録音したい機器をオーディオインターフェイスにつなぐ
2. ミキサーでインプットを設定する
3. 必要に応じてファンタム電源をオンにする
4. 録音待機ボタンをオンにする
5. 録音レベルを調節する
6. 録音する

録音したい機器をオーディオインターフェイスにつなぐ

まずは、録音したい機器を
オーディオインターフェイスのインプットに接続します。

電気的な出力端子を持たない音源を
録音したい場合はマイクを。

電気的な出力端子を持つ機器は
直接オーディオインターフェイスに接続すればOKです。

入力端子の種類

| | | |
|---|-------------------|--|
|  | マイク入力端子 | XLR端子やキャノンとも呼ぶ 微弱な信号入力が前提で 入力後に増幅される |
|  | インストゥルメント 入力端子 | フォン端子とも呼ぶ 微弱な信号入力が前提で 入力後に増幅される |
|  | ライン入力端子 | インストゥルメント入力と違い 既に増幅された信号が前提 入力後は増幅されない |
|  | コンボ入力端子 | XLR端子も、フォン端子も どちらでも接続できる 増幅の有無は設定で変更可 |

ミキサーでインプットを設定する

録音したいトラックのインプットを
先ほど機器を接続したオーディオインターフェイスの
入力端子に設定しましょう。

例えば、インターフェイスの「In1」に
マイクが接続されている場合は
トラックの入力を「In1」に設定すればOK。

ステレオの場合「In1-2」など2chの入力になるが
同様にステレオトラックの入力を「In1-2」に設定すればOK

必要に応じてファンタム電源をオンにする

ファンタム電源とは、コンデンサーマイクやアクティブタイプのダイレクトボックス(DI)などを動作させる場合に必要な微弱な電源のことです。

これらの機器を使用しない場合はこの作業はスルーしてOK。

オーディオインターフェイスやマイクプリアンプに搭載されている「48V」と書かれたボタンを押すことでファンタム電源が供給されます。

ファンタム電源

| | | |
|--|--|--|
| <p>コンデンサーマイクや アクティブタイプのDIを 使用する場合</p> |  <p>+48V ON</p> | <p>コンデンサーマイクなどは動作に電源を供給する必要がある。</p> <p>一般的にインターフェイス本体にボタンがあるため、そこでON/OFFを行う。</p> <p>48Vの他に9V、12V、18V、24Vなどもある。</p> |
| <p>コンデンサーマイクや アクティブタイプのDIを 使用しない場合</p> |  <p>+48V OFF</p> | <p>ダイナミックマイクなどは動作に電源を必要としないためOFFにする。</p> <p>不必要にファンタムをONにすることで接続した機器が壊れる可能性があるため電源が必要なのか要確認です。</p> |

録音待機ボタンをオンにする

ここまでの準備が整ったら
録音したいトラックの録音待機ボタンをオンにしましょう。

これで、接続した機器の音が
トラックに入力される状態となります。

録音レベルを調節する

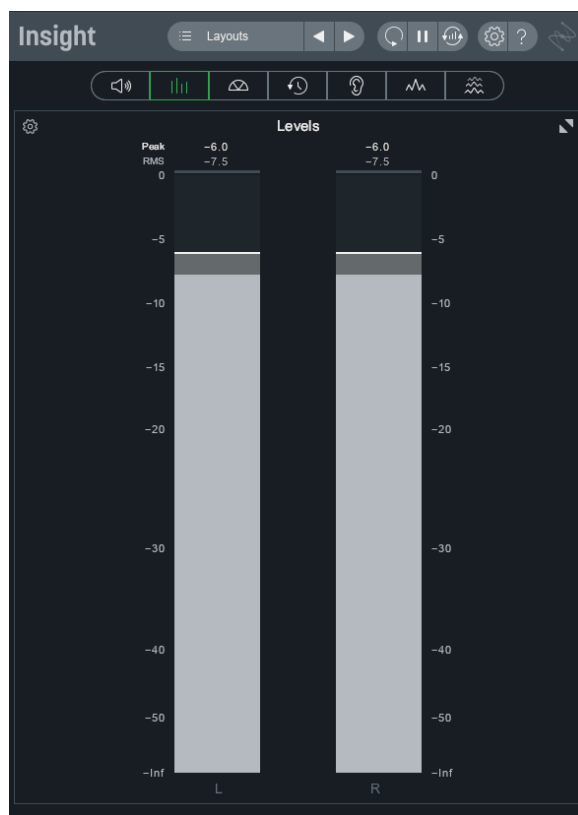
録音レベルを調整していきましょう。

適正な録音レベルには諸説ありますが
少なくとも大きく声を張り上げた場合や
楽器を目一杯強く弾いた時に
音が割れないこと(0dBを超えないこと)が前提です。

ミキサーのメーターを見ながら
最も小さい部分が「-18dB」程度、最も大きい部分が「-6dB」を
軽く超える程度に抑えておくと無難でしょう。

録音レベルの調節

ピークメーターを確認しながら入力を調整する。



録音する

ここまでの準備が整ったら
トランスポートの録音ボタンを押して録音していきましょう。

プレイリストを活用しよう

歌や楽器を録音する際

1回のテイクで完璧に演奏しきることは難しく
プロでも複数テイク収録することも珍しくありません。

テイクを重ねるたび新しいトラックを立ち上げていると
操作もテイク管理も煩雑になってしまいます。

そんなときには、1つのトラックの中で
複数テイクの管理ができる「プレイリスト」を活用しましょう。

録音終了後のお片づけ手順

録音が終わったら以下の手順で片付けましょう。

1. 録音レベルをゼロにする
2. 録音待機ボタンをオフにする
3. 必要に応じてファンタム電源をオフにする
4. 機器をオーディオインターフェイスから外す

基本的にはセッティングと真逆の順番で行えばOKです。